

防災講演会を開催します

— 都市型災害から身を守る！～宮城県沖地震に備えて～ —

2月2日(火)、仙台市戦災復興記念館にて開催、聴講者を募集

東北地方整備局は、2月2日、仙台市戦災復興記念館において、防災講演会「都市型災害から身を守る！～宮城県沖地震に備えて～」を開催します。

本講演会は、日頃より防災活動に取り組んでいる団体関係者をはじめ、一般市民の皆様の防災意識を高めていただき、防災・減災につなげるため開催するもので、広く聴講者を募集いたします。

◆ 開催概要 ◆

○開催日時：平成22年2月2日(火) 13:30～16:00 (開場12:30)

○開催場所：仙台市戦災復興記念館 2F「記念ホール」

仙台市青葉区大町2-12-1

※会場へは公共交通機関をご利用ください。

○開催内容：

■ 講演1

「確実にやってくる大地震に対して—地震防災対策のあるべき姿—
～ハードとソフト、事前と事後、公と私～」

めぐろ きみろう
目黒 公郎氏

(東京大学教授・
生産技術研究所都市基盤安全工学国際センター長)

■ 講演2

「日本一災害に強い都市を目指して」

かさはら よしひこ
笠原 芳彦氏

(新潟県長岡市 理事・危機管理監)

※ 入場は無料です。

※ どなたでも参加いただけますが、FAXによる事前申し込みが必要となります。 (定員270名)

(詳細については、別添チラシをご覧ください。)

■ 申し込み期限：平成22年1月27日(水)まで

<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会>

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 022-225-2171 (代表)

企画部 防災課 課長 熊谷 順子 (内線3411)

課長補佐 前田 直久 (内線3412)

防

災

講

演

会

都市型災害から身を守る！

～宮城県沖地震に備えて～

◆日時 平成22年2月2日（火）

13：30～16：00（開場12：30）

◆会場 仙台市戦災復興記念館（2階・記念ホール）

※会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

入場無料

定員 270名

参加のお申込みが必要です。
※詳しくは裏面をご覧ください。

講演①

「確実にやってくる大地震に対して —地震防災対策のあるべき姿—

～ハードとソフト、事前と事後、公と私～

東京大学教授・
生産技術研究所
都市基盤安全工学国際センター長

めぐろ きみろう
目黒 公郎 氏

講演②

「日本一災害に強い都市を目指して」

新潟県長岡市 理事・危機管理監

かさばら よしひこ
笠原 芳彦 氏



- 地下鉄でのお越し方
仙台駅から泉中央まで1分、広瀬駅で下車。西4番出口から徒歩10分。
- バスでお越しの方
仙台市営バス、仙台駅西口バスプールのり場から約7分、東北公済病院・戦災復興記念館前で下車し、徒歩2分。
10番のりば 茂庭台、折立/西花苑行(西道路経由)
15番のりば 全路線
16番のりば 川内営業所行(広瀬通経由)

●主催／国土交通省 東北地方整備局 ●共催／社団法人 東北建設協会

お申込み・お問い合わせ先／国土交通省 東北地方整備局 企画部 防災課 TEL.022-225-2171 FAX.022-224-9410

防災講演会

都市型災害から身を守る！

～宮城県沖地震に備えて～

●日時 平成22年2月2日(火)

13:30～16:00 (開場12:30)

●会場 仙台市戦災復興記念館(2階・記念ホール)

※会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

●定員 270名 ※参加のお申し込みが必要です。

入場無料

講演①

「確実にやってくる大地震に対して 一地震防災対策のあるべき姿」

～ハードとソフト、事前と事後、公と私～

東京大学教授・生産技術研究所
都市基盤安全工学国際センター長

めぐろ きみろう
目黒 公郎 氏



■講師プロフィール

福島県生まれ。工学博士。専門は都市震災軽減工学。東京大学大学院修了。東京大学助教授を経て、平成16年より教授、平成19年より所属センター長。研究テーマは、構造物の破壊シミュレーションから防災の制度設計まで広範囲に及ぶ。地震を代表とする災害による損失の最小化を実現するハードとソフトの両面からの戦略研究に従事。途上国の地震防災の立ち上げ運動にも参加。内外の多数の災害と事故の現地調査。「現場を見る」「実践的な研究」「最重要課題からタックル」がモットー。中央防災会議専門委員ほか、多数の省庁や自治体、ライフライン企業等の防災委員を務める。

講演②

「日本一災害に強い まち 都市を目指して」

新潟県長岡市 理事・危機管理監

かさばら よしひこ
笠原 芳彦 氏



■講師プロフィール

新潟県長岡市生まれ、桜美林大学経済学部卒業、金融機関を経て、昭和53年新潟県和島村役場職員、平成15年和島村長、平成18年市町村合併により長岡市和島支所長、平成19年長岡市危機管理監、平成20年長岡市理事。自らも新潟県中越地震・中越沖地震の被災者であるとともに、中越・中越沖地震への対応をはじめとする長岡市の危機管理体制を担う職責に従事。内閣府「地震発生時における地方公共団体の業務継続に関する検討会」委員、国土交通省「特殊な土砂災害の警戒避難に関する法制度検討委員会」委員ほか、多数の防災委員を務める。

この用紙のままFAXにてお送りください。

＜参加登録方法＞

1月27日(水)までにFAXにて氏名・電話番号をご記入の上、下記窓口へお申込みください。

参加申込書

※参加希望者が多数の場合は、定員になり次第締め切らせていただきます。

どちらかに✓を記入してください。	個人名・団体名	参加人数
<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 団体	担当者名 (団体の場合に記入)	電話番号

※ご記入いただいた氏名及び電話番号は、参加者把握にのみ利用させていただきます。その他の目的には一切利用いたしません。

※会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

窓口(送信先) >>>> 国土交通省 東北地方整備局 企画部 防災課 FAX 022-224-9410